

# おくたま

特集号



令和5年度  
町長施政方針  
当初予算概要  
特集・保存版

2023.4 No.832別冊(令和5年4月5日発行)

●奥多摩町ホームページ <https://www.town.okutama.tokyo.jp/>



わさびー

発行 奥多摩町 〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川215-6 代表電話 ☎0428-83-2111

## 第5期奥多摩町長期総合計画の実現に向けて

# 師岡町長施政方針

令和5年第1回町議会定例会が3月3日から16日まで14日間の会期で開かれ、初日の

3日に師岡町長が令和5年度

施政方針を発表しましたので、

その概要をお知らせします。

(国・都の現況などは省略して

います。全文は町ホームページ

に掲載、または役場企画財政

課および古里出張所に置いて

ありますのでご覧ください。)

### 【町長就任

### 4年目を迎えて】

令和5年は、町民皆様から

の負託を受け、町政を担うこ

ととなってから4年目を迎

え、任期を締めくくる年とな

ります。

町民皆様、議員皆様には、

これまでのご支援とご協力に

対しまして、この場をお借り



して、心より感謝を申し上げます。

これまで、町では、令和元

年10月の台風第19号による広

範な災害復旧事業に加え、日

本のみならず全世界を襲った

新型コロナウイルス感染症へ

の対応を最優先に取り組ん

でまいりました。

この新型コロナウイルス感

染症につきましては、国内で

の感染が確認されてから3年

以上が経過いたしました。が、

いまだ収束したとは言えず、

今後も町民皆様の健康を第一

に考え、引き続き、関係機関

と連携を図りながら対策を継

続してまいります。町にお

きまして、長年の課題であり

ます過疎化、少子高齢化をは

じめとする様々な解決すべき

事柄につきましても、私が先

頭に立ち、職員と一丸となっ

て、町民皆様の考えや思いを

斟酌しながら、町の将来を見

政の進展を図ってまいりる所存  
であります。

一方、政府は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、本年5月8日に季節性インフルエンザなどと同一「5類」に移行する方針を正式に決定いたしました。

東京都においては、「5類」移行に伴う対応方針として、「都民の命と健康を最優先に、かつての日常を取り戻すだけでなく、コロナとも共存した活気あふれる東京を確かなものにしていく」また、移行後も都民の不安や医療現場等の混乱を招かないよう、必要な保健、医療提供体制を継続しつつ段階的に移行し、感染が再拡大した場合に備え、機動的に対応できる体制を維持することとしております。

いずれにいたしましても、「5類」移行後は、緊急事態宣言や入院勧告・指示、また、感染者や濃厚接触者の外出自粛要請などの行動制限がでなくなり、感染対策について

《次ページへ続く》

は、各々の個人やグループが主体的に選択して行うこととなりますが、「5類」に移行しても新型コロナウイルスの感染力や病原性が変わるわけではありません。

町といたしましては、移行までの間、引き続き、地域住民の皆様をはじめ、事業者皆様のご協力のもと、関係機関とも連携し、感染予防や対策に取り組んでいくとともに、移行後の自主的な感染対策について、必要となる情報提供を行ってまいりますので、ご理解並びにご協力をお願い申し上げます。

次に、2月6日にトルコ南部のシリア国境近くで発生した大地震により、多くの犠牲者と甚大な被害が生じております。この場をお借りしまして、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、そのご家族の方、そして被災された方々に、心よりお

見舞い申し上げます。また、過酷な環境下において救援、支援活動を展開している方々の勇氣に敬意を表し、1日も早い復旧、復興を心からお祈りしております。

東日本大震災から12年が経とうとしている今、当町においても、いつ起こるか分からない自然災害への備えを万全にするとともに、万一発生した場合でも、自助、共助、公助とそれぞれの段階において、町と住民自治会、並びに関係機関が連携し、一体となって、町民皆様の生命と財産を守る所存でありますので、議員皆様にもご理解並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成27年度からスタートいたしました「第5期奥多摩町長期総合計画」では、豊かな山々と清流の中で自然と共生する町におきまして、多くの魅力に包まれた、住む人と訪れる人

が癒され、子どもからお年寄りまで、生涯を健康で安心して暮らせるまちづくりを推進しております。その中でも過疎化が進行する町において、最も大きな課題である人口減少への取り組みとして、少子化対策と定住化対策を「奥多摩創造プロジェクト」に位置付け、重点的に、また、積極的に推進しており、これまでの各種施策により人口減少のスピードは緩やかになっておりますが、引き続き、厳しい状況にあることは認識しなければなりません。



▶ 昨年子育て応援住宅に入居した近平様ご家族

この「奥多摩創造プロジェクト」では、活力ある地域づくりのため、少子化対策の推進として、出会い・暮らし、子育て・教育の分野を、また、住みたい方が住める町を築くための定住化対策として、仕事、住まいの分野を推進することとしております。これらの対策は、過疎化による人口減少、少子高齢化が進む町において、高齢化対策や地域コミュニティの活性化にもつながるものであり、高齢化率が50%を超える状況となっている中、地域コミュニ



▶ 令和5年3月に完成した子育て応援住宅（小丹波）

二ティ力が低下しつつある地域も見られる町において、今後も重点的に推進すべき取組のひとつであると考えております。一方、近年、町内在住の高校生、大学生がスポーツの分野で、輝かしい成績を収め、強化選手に指定されるなど、明るい話題を届けていただいております。今後の更なる活躍を大いに期待しているところであります。また、これからも素晴らしい人材が輩出されるよう、町といたしましても支援等してまいりたいと考えております。



▶ 2022カヌースラロームジャパンカップ最終戦で優勝された、禰寝大亮君（境在住・大学1年生）

## 【令和5年度の主要な事業について】

まちづくりにおける町の最上位計画であります「第5期奥多摩町長期総合計画」の施策の大綱に沿って、令和5年度予算案の中で、特に重点としている施策や新規事業につきまして、ご説明申し上げます。

### 第1章「みんなで支えるホットなまちづくり」

#### ○「誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり」

町民皆様が明るく健やかに暮らすためには、まず、健康でなければなりません。このための各種検診事業、保健推進活動事業、定期予防接種事業、食育推進事業、健康相談事業などの疾病予防につながる事業を実施するほか、健康維持のための口腔ケア実施体制を推進していくとともに、地域医療体制及び医療保険制度の適切な事業運営が図られるよう、着実に努めてまいります。

また、町内小中学校、児童・生徒の放課後を含めた学校生活の充実と発展に資するための放課後居場所づくり事業を新たに実施してまいります。

#### ○「安心して子どもを産み育てる地域づくり」

過疎化による少子高齢化が進む当町において、子どもや子育て家庭の環境づくりのため、結婚、出産、産後ケア、子育てまできめ細やかな支援を行ってまいります。

特に、重点施策の一つとしている少子化・定住化対策を継続し、子どもや子育て世代の増加を図り、自治会等による地域の絆の維持、活力の向上に努めてまいります。

#### ○「高齢者が生きがいを持って暮らせる地域づくり」

多くの高齢者は、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことを望んでいることから、町職員、地域包括支援センター職員、高齢者見守り相談員、社会福祉協議会、民生・児童委員等が連携を行いながら、在宅高齢者への福祉サービスを引き続き、推進してまいります。

また、引き続き、老人クラブの運営に対する支援、シルバー人材センター事業における就業機会の確保・充実を図ってまいります。

なお、ドローンや配送ロボット等による郵便・物流領域での実用化に向けた取り組みを進めている日本郵便株式会社では、当町において令和元年度から実証実験を続けておりますが、町といたしましても過疎地域での配送や物流の2024問題を含め、自力で買い物が難しい高齢者等への生活支援に資する物流の実現に向け、引き続き、連携・協力を図ってまいります。

#### ○「障害者が自立して生活できる地域づくり」

障害のある方が地域の中で自立して自分らしく生活を送ることができるよう、ノーマライゼーションの実現へ向け、医療・福祉などとの連携や継続的な支援相談体制の充実を図ってまいります。

特に、障害者地域活動支援センター「かもんみーる」の円滑な運営と社会参加が図られるよう、引き続き、推進してまいります。

#### ○「心のぬくもりと絆を持ち続けられる地域づくり」

町では、自治会や隣組などによる地域での支え合いや助け合いによる地域コミュニティの力は非常に強いものの、少子高齢化等の影響により、これまでどおりの地域での支え合いが困難となることも想定されます。地域ささえあいボランティア事業、高齢者見守り事業などを通じ、安心して暮らすことができるよう、民間の力も借りながら、強い地域の絆の維持を推進してまいります。

#### 【定住対策によるこれまでの効果】

令和5年3月1日現在

	世帯数	人口(人)			
		大人	子ども	合計	
定住対策事業人口	217	375	219	594	
(内訳)	町内転居	95	182	80	262
	Uターン	20	35	34	69
	Iターン	102	158	105	263

\*総人口4,717人(内594人が定住対策事業:12.6%)

## 第2章「やさしさ ふれあい 人と自然」

### ○「自然とともに歩むまちづくり」

町は、豊かな森林資源と水資源に恵まれ、町内全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれていることから、町の環境を適切に保全していくため、「ごみを減らす10アクション」など、ごみ減量化へ向けた取組を推進し、環境に配慮した循環型社会の形成に努めるとともに、生活基盤として重要な役割を持つ道路の整備や下水道への接続についての普及啓発活動、簡易給水施設の安定的な維持管理を行います。

また、地域の一斉清掃は、5月30日の「ごみゼロの日」を中心に、環境美化活動として、住民皆さんにご協力とご尽力をいただいているところであり、引き続き、美化活動の支援を行ってまいります。

### ○「誰もが住みたくなる心かようまちづくり」

これまでも住民と行政との協働によるまちづくりを推進するために、住民が主体となったまちづくり活動への支援を行ってまいりましたが、引き続き、住民がまちづくりへの参加ができるよう、取組を行ってまいります。

また、自然災害等への備えとしまして、引き続き、警察、消防及び東京都等の関係機関と連携を図りながら、危機管理体制の強化に努めるとともに、地域住民の安全・安心を確保するため、災害時には、危機管理対応を果たす防災拠点としての機能を持つ新庁舎の整備推進を目指してまいります。

## 第3章「町の中と外から関心を持たれる教育のまちづくり」

### ○「みんなでチャレンジする生涯学習のまちづくり」

文化会館や図書館などは指定管理施設として、生涯学習の拠点となっておりますが、さらなるサービス向上に努め、適切に管理運営を支援してまいります。

また、他地域や海外の人材と積極的に交流できる機会を提供するため、友好交流を締結した神津島村での洋上セミナーのほか、海外との交流として、オーストラリアへの海外派遣事業及びホームステイでの受け入れ事業など、引き続き、実施してまいります。

### ○「豊かな能力と強い心を育むまちづくり」

各学校における施設や設備については、氷川小学校東側トイレ改修工事や中学校保健室等エアコン設置工

事など、児童・生徒が健やかに教育を受けることができるよう教育環境を整備いたします。

また、町内小学校に電子黒板を導入し、ICT教育の推進を図ってまいります。

### ○「伝統と先進の文化・芸術にあふれたまちづくり」

町内の郷土芸能を次世代に確実に継承するため、引き続き、映像記録保存事業を実施してまいります。

また、ユネスコ無形文化遺産に登録された小河内の「鹿島踊」をはじめ、国指定重要無形民俗文化財に指定されることとなりました「川野車人形」や各地域における獅子舞等、町の豊富な郷土芸能の魅力を発信してまいります。



小河内の鹿島踊



川野車人形

## 第4章「みんなの力がつながる観光・産業づくり」

### ○「住民が元気になる交流観光づくり」

緑豊かな森林や奥多摩湖など豊富な水環境が豊かな町には、その自然環境を求めて年間212万人を超える観光客が訪れていると推計されております。コロナ禍においても、外国人観光客は減少しているものの、近郊からの観光客は増加しており、コロナ収束後の観光地として、しっかりとした受入れ態勢を整えてまいります。

また、森林セラピー事業では、昨年8月、全国46団体が加入する「森林セラピー基地 全国ネットワーク会議」の会長を私が務めることとなりました。全国加入団体の代表として、森林セラピー専用ロード「香りの道 登記トレイル」の再整備を含め、町の特色を活かした事業の推進を図ってまいります。

### ○「奥多摩ならではの地域産業の推進」

野村不動産ホールディングス株式会社が設立した「森をつなぐ合同会社」と連携し、健全な森林の育成や地域材を活用するなど、持続可能な森林経営の実現に向け、取組を進めるとともに、森林環境譲与税及び令和6年度から始まる森林環境税の積極的な活用を図ってまいります。

また、内水面漁業の振興などに携わる、地域おこし

協力隊員の活発な活動が成果として現れる時期に差し掛かっており、地域資源を活用した隊員の取組が新たな付加価値を生み出し、新たな「6次産業化」へ繋がるよう、引き続き、支援をしております。

### ○「観光・産業づくりを推進する力の強化」

奥多摩観光協会やおくたま地域振興財団、JR東日本八王子支社等と連携しての各種イベントやPR事業の実施など、魅力あふれる奥多摩町の観光や特産物等の情報を提供するとともに、わさびーをはじめとしたノベルティグッズの充実を図り、観光客の誘致につなげてまいります。

また、JR東日本八王子支社では、青梅線の青梅駅から奥多摩駅間を「東京アドベンチャーライン」として愛称を設定し、自然の中でアウトドア・アクティビティを楽しめる路線としてPRしてきましたが、この度、新たに4編成に四季折々のラッピングを施し、全部で5編成のラッピング列車が揃い、青梅駅から奥多摩駅間を走る専用列車として運行されることとなりました。引き続き、JR東日本八王子支社と連携して、地域住民の皆様や観光客に愛される路線になるよう「東京アドベンチャーライン」の魅力を発信してまいります。

## 第5章「住民と行政がともに考え、ともに築く、住みよい・住みたいまちづくり」

### ○「官民協働による定住対策とまちづくり」

過疎化による少子高齢化対策や地域コミュニティの維持へつなげるため、空家の活用や子育て応援住宅の建設を実施し、町内への定住、移住が図られるよう定住対策事業を推進してまいります。

事業の実施にあたっては、地権者や空家所有者をはじめ、地域の皆様のご理解、ご協力が不可欠であります。今後も、皆様方のご理解、ご協力を得ながら定住施策を推進してまいります。

### ○「成果を重視した行政改革の推進」

第5次行政改革大綱に基づく『量から質への転換を目指した「しごと・ひと・しくみ」の改革』を推進し、町民皆様に満足いただける行財政運営が図られるよう努めてまいります。

また、多様な行政需要への対応と各課の業務を最適化するため、限られた職員数の中、役場組織の見直しを行っているところであり、山のふるさと村及び都民

の森の二つの都指定管理施設を統括し、両施設の積極的かつ一体的な運営に資するため、新たに観光産業課へ、自然公園施設担当課長を配置するとともに、下水道事業の持続的で安定的な事業運営に資する公営企業会計移行及び多様化する環境面への対応に向けて、新たに環境整備課へ、環境担当主幹を配置いたします。

### ○「身の丈にあった健全な財政運営の推進」

自主財源である町税が年々減少を続け、国や都へ財源を依存している厳しい財政状況の中、各種事業の見直し・再構築を図りながら、事業の実施にあたっては、限りある財源を効果的、効率的に執行し、身の丈にあった健全で堅実な財政運営を推進するとともに、将来の財政需要を見通し、引き続き、基金への積立及び活用を計画的に行ってまいります。

また、町税の収納率は、依然高い水準を維持しており、町税は減少傾向にあるものの貴重な自主財源でありますので、今後も収納事務の対策を緩めることなく、自主財源の確保を図ってまいります。

## 令和5年度 当初予算が3月の定例町議会で可決されました

令和5年度は、第5期長期総合計画「おくとま魅力発信計画」の9年目を迎えます。新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢などの影響により、町を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、住民福祉の増進と少子化対策・若者定住化施策を推進し、個性的で活力のある地域社会を将来にわたって持続させるため、事務事業の必要性・有益性・費用対効果を含めた事後検証の強化、必要な見直し・再構築を図るなど、身の丈に合った健全で堅実な行財政運営を目指し予算編成を行いました。

なお、奥多摩町の予算は、一般会計と6つの特別会計並びに企業会計（病院）の全8会計からなっています。

### 令和5年度会計別予算額（前年度との比較）

（単位：千円・％）

区 分		令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	
一 般 会 計		7,010,000	6,880,000	130,000	1.9	
特別会計	都民の森管理運営事業	77,000	77,000	0	0.0	
	山のふるさと村管理運営事業	165,000	165,000	0	0.0	
	国民健康保険	807,000	798,000	9,000	1.1	
	後期高齢者医療	231,000	225,000	6,000	2.7	
	介護保険	841,000	839,000	2,000	0.2	
	下水道事業	712,000	713,000	△ 1,000	△ 0.1	
	小 計	2,833,000	2,817,000	16,000	0.6	
病院事業会計	収益的予算	530,000	501,000	29,000	5.8	
	資本的予算	歳入	90,000	98,800	△ 8,800	△ 8.9
		歳出	114,132	104,312	9,820	9.4
	小 計(歳出)	644,132	605,312	38,820	6.4	
合 計		10,487,132	10,302,312	184,820	1.8	

### 【予算の概要】

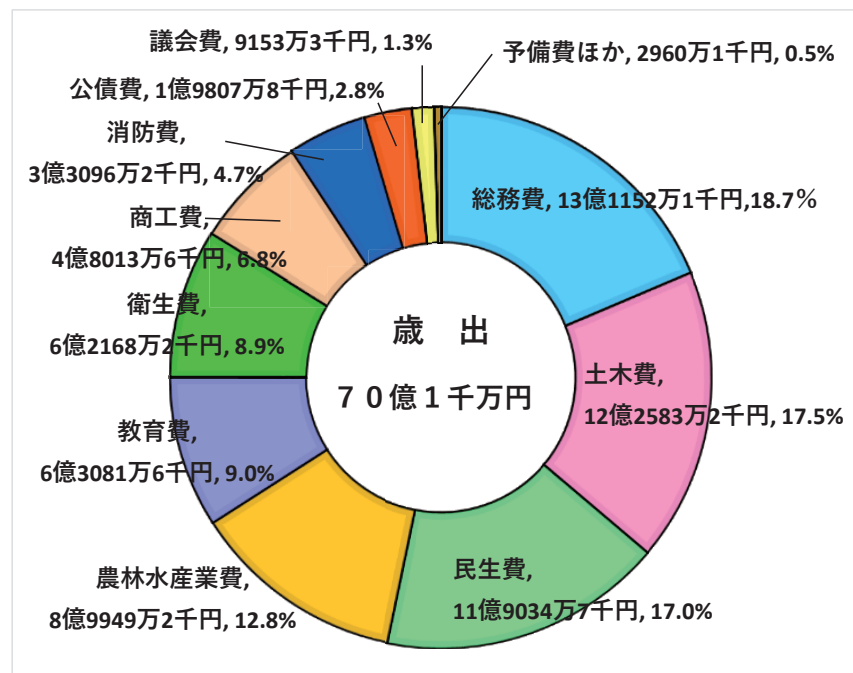
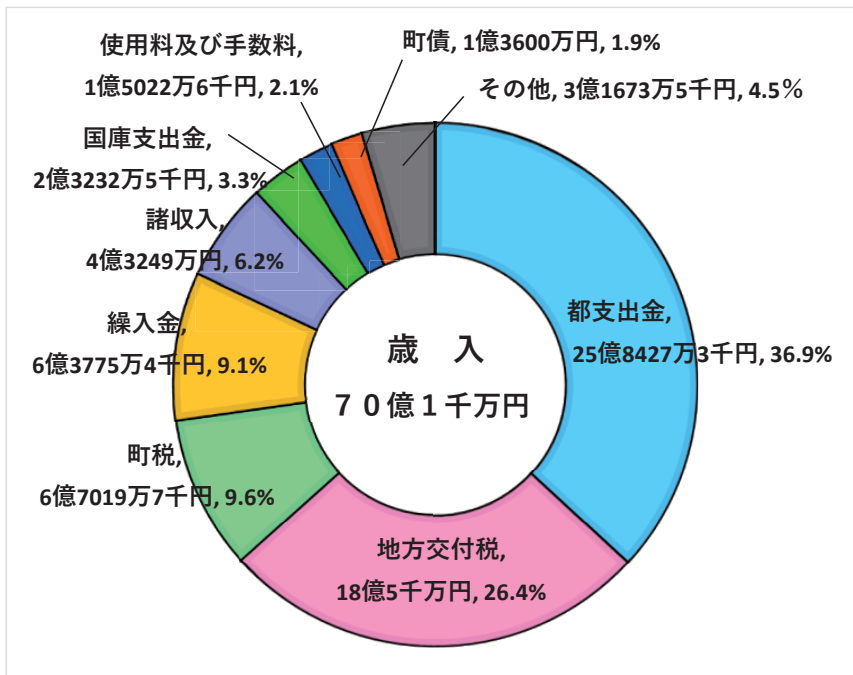
令和5年度の一般会計の予算規模は、前年度比で1億3,000万円、率にして1.9%増となる70億1,000万円となりました。特別会計では、下水道事業特別会計で100万円、0.1%減ですが、引き続き7億円を超える予算となりました。病院事業会計では、薬品費の増や奥多摩病院経営強化プラン策定支援業務委託の計上などにより、収益的予算が2,900万円の増となりました。これらの要因により、全会計総額では前年度比1.8%増の104億8713万2,000円となりました。

なお、町ホームページには、さらに詳しい内容の「当初予算の概要」を掲載していますので、ご覧ください。

【主な事業】

- 庁舎建設整備事業 4億9915万8千円
- (用地買収費など)
- 町議会議員選挙執行費 2124万7千円
- 少子化対策事業(保育園保育料助成、高校生等通学定期代助成など) 3808万円
- 放課後居場所づくり事業 409万5千円
- 病院会計出資 9000万円(奥多摩病院空調設備改修工事などのため)
- 簡易給水施設管理事業(配水管布設替工事など) 5175万2千円
- 林道開設事業(西川線) 5479万4千円
- 内水面漁業環境活用施設整備事業(釣場施設改修工事など) 3207万1千円
- 観光施設整備事業(もえぎの湯改修工事など) 1億2459万5千円

一般会計歳入歳出予算額および構成比



○道路新設改良事業(南平熊沢線、白丸丸の内西線など)  
 ○水神前実施設計業務委託など  
 ○9575万円  
 ○子育て応援住宅建設事業 2000万円  
 ○小・中学校建設事業(古里小学校内部仕上等改修設備促進事業交付金、丹三郎定住応援補助金、空家等活用促進事業交付金、丹三郎)

計委託、氷川小学校東側トイレ改修工事など  
 4339万5千円  
 など



## 【おわりに】

庁舎建設整備事業では、昨年9月から12月までに全5回にわたり庁舎建設委員会が開催され、毎回、活発な議論が交わされるとともに、10月に実施しましたパブリックコメントでは、多くのご意見が寄せられました。11月には、「庁舎建設候補地及び庁舎建設基本構想に関する諮問事項」についての中間答申書が正副委員長から提出され、庁舎建設候補地には、大氷川地内の「JR青梅線奥多摩駅東側」の土地が選定されました。ただし、「アクセスに関して、踏切や坂道等、現状の課題があるため、これらの改善に努めること」が付記されました。

また、基本構想における基本理念では、「誰もが親しみやすく訪れやすい庁舎であるとともに、地域住民の安全、安心を確保するため、災害時には、危機管理

対応を果たす『防災拠点』としての機能、そして、地域コミュニティの活性化につながるような一人ひとりがイメージする『奥多摩らしさ』を併せ持つ庁舎を目指すこと」とされました。12月には、最終回となる第5回委員会において、最終答申に盛り込むべき提言内容の骨子が決まり、その後、「庁舎建設基本計画に関する諮問事項」についての最終答申書が正副委員長から提出されました。



▶左から松本委員長、町長、木村副委員長

最終答申の内容は、基本構想の考え方をより具体化するもので、「コスト面のみならず建設候補地の敷地特性を活かした庁舎の検討、多摩産材等の木材の積極的な活用の検討、庁舎完成後も町民等が関わりを持てる屋外スペースの確保と有効活用の検討、新庁舎へのアクセスに関して安全確保のために必要な道路（通路）整備の検討」などの提言が盛り込まれました。

今後は、現在実施中のパブリックコメントや3月17日の住民説明会を経て、3月末までに庁舎建設基本計画を策定し、アクセスに関して、安全面も含め、利用者目線にたつたうえで、JRを含む関係機関と協議・調整を行い、令和5年度以降、基本設計、実施設計作業を進めてまいります。

向し、自然豊かな奥多摩町を軸とした地域社会への貢献を図るため、今後、多摩大学との協議を重ね、多機能地域活性化拠点のオープンを目指すとともに、学生の若い力を借りながら、そして、地域皆様のご理解をいただきながら、引き続き、連携を図ってまいります。

そして、旧琴清苑跡地の活用では、クラブビル事業用地として、年内に醸造施設の稼働が開始できるよう、引き続き、協議・調整を重ねてまいります。この事業は、単なる事業拡大ではなく、町、VERTERRE（バテレ）合同会社及びJR東日本グループが相互に連携し、奥多摩町の新たなスポットとして、観光、経済、雇用そして税金といった様々な面で、地域にとっても有益な事業になるものと認識しており、事業の実現に向け、地域への説明も含め、具体的な取組

を進めてまいります。いずれにいたしまして、今後も民間事業者と連携を図りながら、町内に点在する空家や町有財産の有効活用にも積極的に取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

重ねて、町民皆様、議員皆様の一層のご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げます。令和5年第1回奥多摩町議会定例会の開催にあたっての、私の施政方針とさせていただきます。

